

報道関係者各位

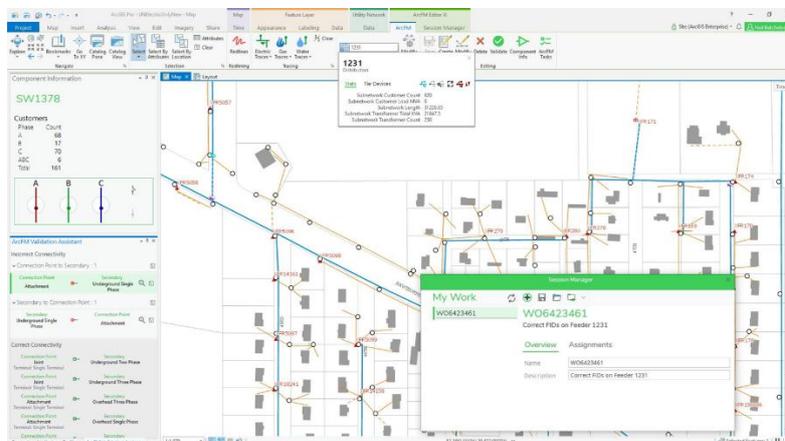
2026年3月4日
日本電気株式会社
シュナイダーエレクトリック

NEC とシュナイダーエレクトリック、地理情報システムを活用した電力事業者向け設計・設備管理ソリューションの日本市場への導入拡大に向けた覚書を締結

- ・ 地図上で電柱や変圧器などのインフラ設備情報を可視化し、設計から現場での運用・保守業務を大幅に効率化
- ・ 世界 500 社以上に導入済みの国際規格に準拠したソリューションで、日本の電力網・電力保安通信網の資産管理の国際標準化に貢献

日本電気株式会社（以下、NEC）とシュナイダーエレクトリック（以下、シュナイダー）は、シュナイダーが提供する電力会社・電力系通信事業者などユーティリティ事業者向けの地理情報システム（以下、GIS）を活用したソリューション「EcoStruxure™ ArcFM」の日本市場における導入拡大に向けた覚書を締結したことを本日発表しました。

シュナイダーが提供する GIS 活用ソリューション「EcoStruxure ArcFM（エコストラクチャー アークエフエム、以下 ArcFM）」は、電力・通信やガス、上下水道などのユーティリティ事業者向けの GIS ベースの設備管理・設計プラットフォームです。ArcFM は、GIS 業界における世界的なリーディング企業である米 Esri 社の GIS 統合プラットフォーム「ArcGIS」を基盤とし、電力・ガス業界のデータモデルの国際標準に準拠した ArcGIS Utility Network をベースに開発されており、ネットワーク資産を地図上で直感的に可視化するとともに、設計、保守、運用の各プロセスを一元的かつ効率的に実施することが可能です。さらに ArcFM は、ADMS（高度配電管理システム）との連携にも対応しており、情報をシームレスにつなぐデジタルワークフローを実現、電力・電力系通信事業者の業務効率化や迅速な意思決定、ネットワーク運用の最適化に大きく貢献します。具体的には、電力事業者は本ソリューションの導入により、電柱や変圧器の位置や接続関係、設備を流れるリソースの状態などを可視化することができるようになり、設計から現場での運用・保守業務を大幅に効率化することが可能になります。



図：EcoStruxure ArcFM 設計ソフトウェアサンプル画面

近年、日本ではインフラの老朽化が社会問題となっており、電力やガスなどのユーティリティ事業者では GIS やシステム管理基盤の刷新、再生可能エネルギーをはじめとする分散電源対応のためのシステム高度化が急務となっています。また、各事業者が自社独自の資産管理システムを用いていることで、業界全体の標準化が進まず、リアルタイムなデータ連携や運用・保守に課題が多く存在しました。

シュナイダーエレクトリックの ArcFM はすでに世界で 500 社以上のユーティリティ事業者に導入された次世代プラットフォームです。システムの刷新、業界全体でのプラットフォーム標準化が今後加速する日本市場において、次世代型のデジタル化された高度なシステムを支えるソリューションとして、重要な選択肢となっています。

NEC は ArcFM の最初のトレーニングを 2026 年 3 月までに修了、今後は設計・編集・モバイル端末などソフトウェアに応じた個別の基礎技術トレーニングを順次受講します。さらに実装技術のトレーニングを経て 2026 年度内にシュナイダーエレクトリックの公式認定パートナー（Certified Partner）となることを目標としています。

また、今後両社は、日本の電力事業者や電力系通信事業者会社向けの PoC（概念実証）や導入案件において緊密に協力するほか、ガスなど他のユーティリティ事業領域においても協力関係を深め、さらに日本市場向けの新たなソリューションモデル策定も視野に入れて事業共創を進めます。

関連ページ：

ArcFM Solution <https://www.se.com/jp/ja/product-range/62051-arcfm/#overview>

NEC について

NEC は、125 年の歴史を持つ、IT サービス事業・社会インフラ事業をグローバルに展開する企業です。AI・生体認証・セキュリティ・ネットワークなどの技術を強みとし、革新的なソリューションの提供や新事業開発への積極的な取り組みを行っています。業種横断の先進的な知見と最先端技術を結集し体系化した価値創造モデル「BluStellar(ブルーステラ)」を中核に、社会や企業の DX を推進。誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指しています。

<https://jpn.nec.com/>

Schneider Electric について

シュナイダーエレクトリックは、電化・自動化・デジタル化を通じて、産業・企業・住宅の効率と持続可能性を実現する、エネルギーテクノロジーのグローバルリーダーです。シュナイダーの技術は、ビルやデータセンター、工場、インフラ、電力網をオープンで相互接続されたエコシステムとして機能させ、パフォーマンス、レジリエンス、そしてサステナビリティを向上させます。私たちのポートフォリオを支えるのは、スマートデバイス、ソフトウェア主体のアーキテクチャ、AI搭載システム、デジタルサービス、専門的なアドバイザーです。世界100か国以上に広がる16万人の社員、そして100万のパートナーとともに、シュナイダーは世界で最も持続可能な企業の一つとして、評価され続けています。

www.se.com/jp

報道関係からのお問合せ先

日本電気株式会社 ライフライン営業統括部 Email：info@lifeline.jp.nec.com

シュナイダーエレクトリック 広報担当 - 松田 依子（まつだ よりこ） TEL：070-2324-6673 Email：PR-Japan@se.com